

アーカス湘南創立 10 周年に寄せて

津久井中央ロータリークラブ
佐藤祐一郎

この度創立 10 周年を迎える事となりましたアーカス湘南ロータリークラブの皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

2014~2015 年度渡辺治夫ガバナーの強い思い入れにより「かながわ 2780 ロータリー E クラブ」として創立、年度末 6 月に RI 加盟認証状伝達式が開催されました。当時渡辺ガバナーの下、9 人のガバナー補佐の一人として創立会員の入会に微力ながら助力させていただいたご縁で、今回も寄稿させて頂きました。

2010 年より従来のような対面によらずとも、ネット上での例会開催ができる E クラブが認められたことにより、決められた場所、時間を選ばず、ロータリークラブの活動に参加できるという素晴らしいメリットを持つクラブが、第 2780 地区にも誕生したのです。

その後 2016 年に従来型のクラブでもネット上での例会出席が認められたことにより、E クラブへの言及はなくなりましたが、この魁としての活動が、コロナ禍で従来型例会が開催できなくなった状況下、地区内クラブにおいても大いに参考になり、今でもクラブ例会や地区委員会、セミナーなど、対面のみならずネット上あるいはハイブリッド形式をとる会合が増えています。

講義形式のセミナーなどでは、地理的あるいは時間的、経費のことも考えれば、はるかにメリットが大きいと思われます。

さらにかつての様に様々な情報が紙媒体等によって RI から地区、地区からクラブ、クラブからロータリー会員へと流れるのではなく、SNS や RI のホームページから瞬時に伝わるという時代になっており、IT リテラシーに精通したアーカス湘南ロータリークラブ会員の皆様はロータリーについて、その理念や最新情報をしっかり理解して頂

いているというがその証左でもあります。

ひとつの問題は地域へ密着性には従来型クラブに比べると遜色があるのかもしれませんが。多分新会員の獲得や、地域イベント、地区内グループにおける分担等、そもそもグループや地区への帰属が必要なのかという疑問もあります。

しかしながら国外や遠隔地在住の会員の入会や、比較的安価な会費や時間的制約のない条件など考えれば、クラブの活動、ポリシーを積極的に発信することによって、これからの発展は大いに望めるだろうと考えております。

ロータリーの目的、二大モットー、4つのテスト、中核的価値観などその主体はロータリー会員一人一人であります。

アーカス湘南ロータリークラブ会員の皆様一人一人がこの10年で培った経験やレガシーは、今後も地区のみならずこれからのロータリーに大きな影響を与え、これを支え続ける事と信じております。